

トーキョー・エクスペリメンタル・フェスティバル(TEF)関連プログラム

若手のための現代音楽企画ゼミ ～音楽を伝える言葉を身につける～

2014年12月11日(木)より スタート

東京芸術劇場 ミーティングルーム、シンフォニースペース

— “現代音楽” で伝えたい若手アーティスト募集！

TEF 関連プログラム「若手のための現代音楽企画ゼミ～音楽を伝える言葉を身につける～」は、現代音楽の分野で活動している若手アーティストが、自らの言葉で現代音楽と観客をつなぎ、社会へ向けて発信する力を育てていくための教育プログラムです。

<ゼミのポイント！>

◆多彩な講師陣から「学ぶ」

- ・大切なのは、直に「話を聞く」こと、実際に「技を見る」ということ
- ・各分野の第一線で活躍する講師の話や実演には「音楽を伝える言葉」のヒントが含まれている！
- ・言葉を「考える」ために必要な知識や教養を、「学ぶ」ことによって身につける

◆ワークショップとコンサートを「考える」

- ・ワークショップは、奏者と観客の関係を縮め、観客をコンサートへ導きやすくするためのツール
- ・「学ぶ」ことによって得た知識を元にワークショップとコンサートが連動したプログラムを考える
- ・「考える」ことを通じて“音楽を伝える言葉”を見つけよう

◆企画を「発表する」

- ・考えたプログラムは企画書として発表(提出)
- ・企画書は、他の受講生と共有し、講師の講評を受ける
- ・他人の目に触れることで「自分の言葉が相手に伝わるか」を確認する

若手アーティストの発掘・育成、そして東京からの発信をサポートするトーキョーワンダーサイトならではのプログラムにどうぞご期待ください！

<お問い合わせ >

〒130-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

公益財団法人東京都歴史文化財団トーキョーワンダーサイト 広報担当: 石川、市川

TEL: 03-5602-9881 FAX: 03-5602-9882 E-mail: press@tokyo-ws.org

★TWSオフィスは東京都現代美術館内に移転しました。

若手のための現代音楽企画ゼミ 概要

会 期：2014年12月11日(木)より開始(詳しいスケジュールは次頁をご覧ください)
 講 師：秋山晃男 (アルク出版企画代表取締役)
 五十嵐 玄 (編集者、音楽ライター)
 梶 奈生子 (東京文化会館事業企画課長)
 片山杜秀 (政治学者、音楽評論家、慶應義塾大学教授)
 楠瀬寿賀子 (津田ホールプロデューサー、せたがや文化財団音楽事業部プロデューサー)
 中川賢一 (ピアニスト、指揮者)
 沼野雄司 (音楽学者、桐朋学園大学教授)
 畠中 実 (NTT インターコミュニケーション・センター [ICC] 主任学芸員)
 毛利嘉孝 (社会学者、東京藝術大学准教授)

会 場：東京芸術劇場 ミーティングルーム、シンフォニースペース
 主 催：公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト
 協 力：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館、東京芸術劇場

受講者 募集要項

■応募資格

35歳以下(2015年3月末時点)で現代音楽を扱う企画を発表したいと考えているアーティストや企画者(受講者には、ゼミのレクチャー、ワークショップ講座受講後に、課題としてワークショップとコンサートが連動した企画を提出していただきます。詳細は下記【企画提出について】をご参照ください。)

- * 企画提出の意思があり、選出された場合、責任をもって企画を実施できる方に限る。
- * 原則として、下記日程にすべて参加可能な方。

[日程:2014年12/11(木) 12/19(金) 2015年1/8(木) 1/17(土) 1/18(日) 3/19(木)]

★12/11(木)18:30より受講生へのオリエンテーションあり

■応募方法

トーキョーワンダーサイトのウェブサイトより応募用紙をダウンロードし、下記送付先までお送りください。

<http://www.tokyo-ws.org>

■応募締切

2014年11月25日(火)必着

■定員

20名

- *定員を超えた場合は、TWSで応募書類に基づき選考します。
- *選考結果は12月1日(月)までにご連絡いたします。

■応募料・受講料

無料 *C. ワークショップ/コンサート鑑賞(1/18)のみ有料:1,000円

■応募書類 送付先

〒135-0022

東京都江東区三好 4-1-1 東京都現代美術館内
 トーキョーワンダーサイト 舞台芸術担当

■お問い合わせ *Emailのみで受け付けいたします。

seminar2014@tokyo-ws.org

【企画提出について】

課題としてワークショップとコンサートが連動した企画を提出します。 [締切:2015年2月19日(木)]

- ・ワークショップとコンサートは別日で行うこととします。
- ・それぞれ下記の会場を想定した内容で企画してください。

♪ワークショップ: コンサートホール リハーサル室
(100名収容、ピアノ付)

♪コンサート: コンサートホール 小ホール
(客席数300程度を予定)

*提出された企画から審査(公開プレゼン形式)によって選出し、都内コンサートホールで実施を予定しています。企画書のフォーマット、提出に関する詳細、選考審査及び選出企画の実施日等については、決まり次第受講者に発表いたします。

*選出された企画を実施するにあたり、出演料や実施に必要な文芸費等はお支払いいたしません。

内容とスケジュール

A. レクチャー ①～③

「Music Today 1973-1992 — あの時代、何が起こったのか？」

武満 徹が企画・監修し、日本における同時代音楽シーンを牽引した「Music Today」を題材に、企画力、発信力、社会との関係性などについて学びます。当時を知る先駆者たちの対談から、言葉を見つけるための知識を深めましょう。

日 時:

- ① 2014年12月11日(木) 19:00-21:00 講 師: 沼野雄司／片山杜秀 *18:30よりオリエンテーションを行います
 ② 2014年12月19日(金) 19:00-21:00 講 師: 畠中 実／五十嵐 玄
 ③ 2015年 1月 8日(木) 19:00-21:00 講 師: 毛利嘉孝／秋山晃男

会 場: 東京芸術劇場 ミーティングルーム

B. レクチャー ④

「ワークショップ講座」

ワークショップについて、その意義や手法を熟知したアーティストから学びます。ワークショップとコンサートの企画を立てるために必要な実践的な知識を深めましょう。

日 時: 2015年 1月17日(土) 15:00-17:00 講 師: 中川賢一

会 場: 東京芸術劇場 シンフォニースペース

C. ワークショップ／コンサート鑑賞 *本プログラムは一般にも公開されます。

中川賢一×ジョン・ケージ「ソナタとインターリュード」

第一線で活躍する現代音楽のプロフェッショナルによるワークショップとコンサートを鑑賞します。観客に混ざり、奏者と観客の関係を間近で観察することによって、“言葉”の使われ方を学びましょう。

日 時: 2015年 1月18日(日)14:00-15:30 ワークショップ
 16:00-17:15 コンサート
 17:30-18:00 アフタートーク(意見交換)

会 場: 東京芸術劇場 シンフォニースペース *このプログラムのみ有料:1,000円(鑑賞必須)

D. 企画提出

これまでのプログラムで積んだ経験を元に、ワークショップとコンサートが連動したプログラムを考え、企画書にまとめて提出します。

2015年2月19日(木) 提出締切

E. 提出企画講評会

プログラムDで提出された受講生全員の企画内容を共有し、講師から講評を受けることで言葉と企画を見つめなおします。

日 時: 2015年3月19日(木)19:00-21:00 講 師: 中川賢一／沼野雄司／楠瀬寿賀子／梶 奈生子

会 場: 東京芸術劇場 ミーティングルーム

*提出された企画は、審査(公開プレゼン形式)によって選出され、都内コンサートホールで実施を予定しています。審査及び選出企画の実施日等については決まり次第お知らせいたします。

講師プロフィール

■秋山晃男（アルク出版企画代表取締役） レクチャー③

慶応義塾大学文学部仏文科卒業。学生時代より松平頼暁氏に作曲を師事。学習研究社で『こども音楽館』、雑誌『MUSIC ECHO』の編集、青土社で書籍編集、『音楽の手帖』シリーズ編集長を経て、アルク出版企画を設立。これまでに『MUSIC TODAY』誌編集長、埼玉県芸術文化振興財団機関誌『Rotonda』『SiPA』委託編集長、八ヶ岳高原音楽祭プロデューサー、『セゾングループ史』編纂委員会事務局編集顧問、小泉文夫記念民族音楽基金信託管理人、舞台芸術学院講師などを務める。

■五十嵐 玄（編集者、音楽ライター） レクチャー②

早稲田大学卒業後、画廊勤務を経て(株)ニューアート西武入社。現代音楽・民族音楽のLP・CDの輸入・販売、現代音楽のコンサートやレクチャーの制作を行う。同社「アール・ヴィヴアン」店長を務めた後、(株)ニューアートディフュージョン／NADiffに設立時より参加。音楽部門担当、取締役等を経て退職。また、ライターとして「朝日ジャーナル」「レコード芸術」「ユリイカ」等に執筆。現在は編集者として音楽・美術書の編集/出版社に勤務。

■梶 奈生子（東京文化会館 事業企画課長） 提出企画講評会

藤原歌劇団オペラ公演及び新国立劇場との共催オペラ公演、新国立劇場技術部調整課における制作を経て、(株)ラ ヴォーチェのチーフ・ディレクターとして主催オペラ公演やコンサートの企画・制作及びコンテンツ制作・販売、(財)江副育英会の新進アーティスト支援事業に携わる。現在、東京文化会館事業企画課長。

■片山杜秀（政治学者、音楽評論家、慶應義塾大学教授） レクチャー①

『音盤考現学』と『音盤博物誌』で2008年度の吉田秀和賞とサントリー学芸賞を受ける。『未完のファシズム』で2012年度の司馬遼太郎賞を受ける。他に『近代日本の右翼思想』（講談社）、『ゴジラと日の丸』（文藝春秋）、など。NHKFMの『クラシックの迷宮』、CSラジオ「ミュージックバード」の『パンドラの箱』等のレギュラー番組をもつ。

■楠瀬寿賀子（津田ホールプロデューサー、せたがや文化財団音楽事業部プロデューサー） 提出企画講評会

音楽雑誌等の編集・執筆を経て、1988年より津田ホール（東京）の開館準備室に勤務し、1995年よりプロデューサーを務める。1997～2007年滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール・音楽担当プロデューサー、1999年より（財）地域創造「公共ホール音楽活性化事業」コーディネーター等、2010年より（公財）せたがや文化財団音楽事業部部長を経てプロデューサーを務める。室内楽のコンサートを中心に他分野とのコラボレーションやワークショップなどの企画・プロデュースを行う。

■中川賢一（ピアニスト、指揮者） レクチャー④、ワークショップ／コンサート鑑賞、提出企画講評会

桐朋学園大学音楽学部でピアノと指揮を学び、ベルギーのアントワープ音楽院ピアノ科首席修了。1997年ガウデアムス国際現代音楽コンクール第3位。ダンスや朗読など他分野とのコラボレーションも活発。ピアノ演奏とトークのアナリゼを展開し好評を博す。指揮者として、東京室内歌劇場、東京フィル、広響他と共演。現代音楽アンサンブル「アンサンブル・ノマド」メンバー。現在、お茶の水女子大学、桐朋学園大学非常勤講師。2001年度宮城県芸術選奨新人賞受賞。

<http://www.nakagawakenichi.jp> * ブログ、Twitter、Facebook も随時更新

■沼野雄司（音楽学者、桐朋学園大学教授）**レクチャー①、提出企画講評会**

武蔵野音楽大学音楽学学科、東京芸術大学大学院音楽研究科を経て、同大学院博士後期課程修了。2008～09年、ハーバード大学客員研究員。現在、桐朋学園大学教授。主な著書に『リゲティ、ベリオ、ブーレーズ 前衛の終焉と現代音楽のゆくえ』（音楽之友社）、『光の雅歌 西村朗の音楽』（西村朗との共著、春秋社）、『日本戦後音楽史 上・下』（共著、平凡社）、『楽譜を読む本』（共著、ヤマハ）など。

■畠中 実（NTT インターコミュニケーション・センター [ICC] 主任学芸員）**レクチャー②**

開館準備よりICCに携わる。主な企画には「サウンド・アート—音というメディア」、「サウンディング・スペース」、「サイレント・ダイアログ」、「可能世界空間論」など。ダムタイプ、明和電機、ローリー・アンダーソン、八谷和彦、ライゾマティクス、大友良英といった作家の個展やコンサートなど音楽系イベント企画も行なっている。

■毛利嘉孝（社会学者、東京芸術大学准教授）**レクチャー③**

社会学者、東京芸術大学准教授。専門は文化研究、メディア研究、芸術社会学。NPO 法人アート・インスティテュート(AIK)北九州理事。主著に『ストリートの思想』（2009年）、『増補ポピュラー音楽と資本主義』（2012年）など。Twitter: @mouri

関連プログラム

フェスティバル名： トーキョー・エクスペリメンタル・フェスティバル Vol.9

(英語名： TOKYO EXPERIMENTAL FESTIVAL - SOUND, ART & PERFORMANCE Vol.9)

■TEF パフォーマンス (10 企画 14 公演)

会 場： 両国門天ホール(東京都墨田区両国 1-3-9 ムラサワビル 1-1 階)

会 期： 2014 年 10 月 31 日(金)～11 月 16 日(日)

入 場 料： プログラムにより異なる (1,000～3,000 円)

アーティスト： 鈴木ユキオ×山川冬樹、武田 カ、ワラビモチ愛好会、淡座、タナツ・モダバー&ピエール・ムルレ、宇都 縁、ウーゴ・モラレス・ムルグイア & ディエゴ・エスピノーザ、デルフィーヌ・デブレ、iOFloat(ライ・チャーシャ+リャオ・ハイティン)、久保智美

協 力： 一般社団法人もんでん(両国門天ホール)

※各企画の詳細はウェブサイト(<http://www.tokyo-ws.org/archive/2014/08/tef9.shtml>)をご覧ください。

■TEF サウンド・インスタレーション (3 企画)

会 場： トーキョーワンダーサイト本郷 (東京都文京区本郷 2-4-16)

会 期： 2014 年 12 月 6 日(土)～2015 年 1 月 18 日(日)

休 館 日： 月曜日(ただし 1 月 12 日は開館)、年末年始(12 月 29 日～1 月 5 日)、1 月 13 日

入 場 料： 無料

アーティスト： 山崎阿弥、大和田 俊、小林 椋

※各企画の詳細はウェブサイト(<http://www.tokyo-ws.org/archive/2014/08/tef9.shtml>)をご覧ください。

■TEF クロージング・コンサート 中川賢一×ジョン・ケージ「ソナタとインターリュード」

会 場： 東京芸術劇場 シンフォニースペース

会 期： 2015 年 1 月 18 日(日) 14:00 開演 (終演 17:15 予定)

入 場 料： 一般 1,000 円、学生：無料(全席自由／予約制／当日精算／定員：100 名)

※詳細は決まり次第、ウェブサイト(<http://www.tokyo-ws.org/>)にてお知らせいたします。